



市民の声を形に

令和4年6月定例会一般質問

質問予定

①子ども・子育て ②教育 ③困難を抱える市民の支援 ④まちづくり

質問

答弁

子ども・子育て

学校給食

学校給食において、鶏卵や小麦、牛乳、えびなどのアレルギー源となる食材を使用しない「低アレルギー献立」の導入を進めるべきと考えるが見解は。

「鶏卵」と「小麦」については使用しない
で対応する方法を研究する。
「牛乳・乳製品」「えび」についてはカルシウム
摂取の観点から提供する。

子ども・子育て

発達障がい

発達障害のある子育てを経験した保護者の方との交流相談を行うペアレントメンターについて、個人として参加が可能な講座の周知を図るべきではないか。

市から保育所や幼稚園などへ情報提供をする
とともに、保護者に対して周知して
いただくよう依頼をしていく。

まちづくり

広聴制度

市民コメント募集など市民の意見を聴取する際には市 SNS で発信するなど、より広く市民に募集について周知を行うべきであると考えが見解は。

市民コメント制度によるご意見について、
今後はより広く市民への周知を図るため、
SNSやメールマガジンなどでも、積極的に
周知することを検討していく。

まちづくり

葬祭場

葬祭場について、さいたま市などでは地域住民への説明等を行うよう求める要綱を定めており、上尾市においても同様の規制を設けるべきではないか。

現在は制限を設けていない地域での葬祭場の
建築に関して、要綱等の策定を検討して
いきたい。

まちづくり

団地施策

団地再生および活用に向けた計画の策定やまちづくりの方針の決定等を、上尾市としても検討するべきであると考えが見解は。

他自治体の事例なども参考にしながら、
団地再生・活用についての方策などを
研究していきたい。

6月定例会での一般質問のテーマは市民の皆さんの声をふまえて決めました。
ぜひ、取り上げるべき課題などご提案くださいますようお願いいたします。

えびはら直矢プロフィール

昭和62年12月3日生まれ。
●上智大学法学部卒
●首都大学東京社会人類学教室修了。
国連 UNHCR 協会職員などを経て、
衆議院議員公設第一秘書を務める。

大学在学中に市民団体を設立し、子どもたちの放課後を考える団体や演劇教育を推進する団体など複数の団体の運営に携わってきた。
2017年に上尾市議会議員に当選(現在2期目)。
健康福祉常任委員会副委員長。
家族:妻、長男(6才)、長女(5才)、次男(3才)

市政へのご意見やお困りごとがございましたらお気軽にご連絡ください →FAX 048-677-1676

お名前

ご連絡先

ご意見やお困りごとなど

えびはら直矢市政報告

発行人 海老原直矢

〒362-0026 上尾市原市北一丁目14番地9 TEL. 048-716-7323

E-mail. ebihara116@gmail.com <https://www.ebihara-naoya.com/>



2022年6号
2022.6.20



福祉に関する相談機能の強化へ オンライン会議システムを活用した相談対応

担当部長より「ICT 推進本部において推進を検討していく」との答弁

令和4年6月定例会11日目となる6月17日、
①子ども・子育て支援、②教育施策、③困難を抱える市民の支援、④まちづくり施策の4つのテーマについて一般質問を行いました。

今回は前向きな答弁があった項目がいくつかありましたが、特に、福祉に関する相談機能の強化としてオンライン会議システムを活用した相談対応について推進するという回答があったことは大きな進展です。

上尾市ではすでにオンラインを活用するICT（情報通信技術）環境は整っていますが、これをどのように使うかは各課に委ねられてきました。そのため、市の方針として他の自治体のように「オンライン相談」などの事業を実施するということでは進んできませんでした。今回、このオンライン相談について、『上尾市 ICT 化推進計画』の基本施策の1つである『市民の利便性向上』にも繋がることから、今後、ICT 推進本部において、オンラインを活用した相談対応の推進を検討していく」との答弁がありました。

市が行った地域福祉に関するアンケート調査の結果を見ると、特に60歳以下の若い年代で、相談相手として市の相談機関や地域包括支援センターと答える人の割合が非常に少なくなっています。困難を抱える方が適切な支援を受けられるよう、相談機能強化のための施策を今後とも提案していきます。



一般質問の様子



キーワード

上尾市 ICT 化推進計画

市民サービスの向上や行政事務のデジタル化を進めていくことを目的として、上尾市における今後のICT化の方向性を示した計画。

デジタルサービスの充実による「市民の利便性向上」に加え、「行政事務の効率化」「デジタル社会に向けた基盤整備」が基本方針とされている。



データでみる

不安や悩み事の相談先

「不安や、悩み事を相談する場合、誰に相談しますか」という問いに市の相談機関などと答える人は、特に60歳以下の年代で非常に少ない。

	市職員・市の相談機関	地域包括支援センター
18～29歳	1.5%	1.5%
30～39歳	15.9%	3.7%
40～49歳	18.9%	5.7%
50～59歳	20.1%	7.8%

出典：『第3次上尾市地域福祉計画および第6次上尾市地域福祉活動計画策定のためのアンケート調査報告書』

一般質問の様子は上尾市議会スマート中継でご覧いただけます。

(<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/ageo/WebView/rd/council.html>)